PDF ページ	事業者類別	事業者番号	事業所種別	事業所番号	事業者名	事業所名
3	II類	0051	B	005101	河西工業株式会社	河西工業㈱　寄居事業部
5	II類	0052	A	005200	志木地区衛生組合	志木地区衛生組合　新座環境センター
7	II類	0052	B	005201	志木地区衛生組合	志木地区衛生組合　富士見環境センター
9	II類	0053	A	005300	医療法人社団 愛友会	三郷中央総合病院ほか15事業所
11	II類	0053	B	005301	医療法人社団 愛友会	上尾中央総合病院
13	II類	0054	B	005401	大倉工業株式会社	大倉工業㈱埼玉工場
15	II類	0055	A	005500	医療生協さいたま生活協同組合	熊谷生協病院ほか34事業所
17	II類	0055	B	005501	医療生協さいたま生活協同組合	埼玉協同病院
19	II類	0056	A	005600	東武冶金株式会社	東武冶金株式会社　本社事務所
21	II類	0056	B	005601	東武冶金株式会社	東武冶金株式会社　久喜工場
23	II類	0057	A	005700	AGS株式会社	国保会館
25	II類	0057	B	005701	AGS株式会社	本社
27	II類	0058	B	005801	株式会社ホンダロック	株式会社ホンダロック川越工場
29	II類	0059	A	005900	KDDI株式会社	KDDI株式会社　北関東総支社ほか1130事業所
31	II類	0059	B	005901	KDDI株式会社	KDDI株式会社　浦和ネットワークセンター
33	II類	0060	A	006000	竹田印刷株式会社	竹田印刷株式会社関東事業部鳩ヶ谷工場
35	II類	0060	B	006001	竹田印刷株式会社	竹田印刷株式会社関東事業部越谷工場
37	II類	0061	B	006101	株式会社ジーエーシー	株式会社ジーエーシー
39	II類	0062	B	006201	日本ワイパブレード株式会社	日本ワイパブレード株式会社
41	II類	0063	A	006300	株式会社エフテック	株式会社エフテック久喜第2工場ほか2工場
43	II類	0063	B	006301	株式会社エフテック	株式会社エフテック 本社,久喜事業所第1,3工場(3事業所は同一敷地内及び隣接)
45	II類	0064	A	006400	共同印刷株式会社	越谷工場(共同オフセット株式会社)
47	II類	0064	B	006401	共同印刷株式会社	共同印刷株式会社 ﾋﾞｼﾞﾈｽﾒﾃﾞｨｱ事業部 製造本部 鶴ヶ島工場
49	II類	0064	B	006402	共同印刷株式会社	共同印刷株式会社 ﾋﾞｼﾞﾈｽﾒﾃﾞｨｱ事業部 製造本部 川島工場
51	II類	0065	B	006501	東芝モバイルディスプレイ株式会社	東芝ﾓﾊﾞｲﾙﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ(株)本社
53	II類	0066	B	006601	DIC株式会社	DIC株式会社　埼玉工場
55	II類	0067	B	006701	学校法人 東京電機大学	学校法人東京電機大学　埼玉鳩山キャンパス
57	II類	0068	B	006801	第一化成株式会社	第一化成㈱ 埼玉事業所
59	II類	0069	B	006901	冨士印刷株式会社	冨士印刷株式会社　埼玉事業部
61	II類	0070	B	007001	信越ポリマー株式会社	信越ポリマー株式会社　東京工場
63	II類	0070	B	007002	信越ポリマー株式会社	信越ポリマー株式会社　児玉工場
65	II類	0071	A	007100	高田製薬株式会社	大宮第二工場ほか3事業所
67	II類	0071	B	007101	高田製薬株式会社	高田製薬株式会社大宮工場
69	II類	0071	B	007102	高田製薬株式会社	高田製薬株式会社北埼玉工場
71	II類	0072	B	007201	明星食品株式会社	明星食品株式会社　嵐山工場
73	II類	0073	A	007300	三菱電線工業株式会社	関東流通センターほか1事業所
75	II類	0073	B	007301	三菱電線工業株式会社	三菱電線工業株式会社　熊谷製作所
77	II類	0074	A	007400	大林道路株式会社	越谷アスファルト混合所ほか4事業所
79	II類	0074	B	007401	大林道路株式会社	大林道路㈱久喜アスファルト混合所
81	II類	0075	A	007500	株式会社プリンスホテル	飯能プリンスホテル
83	II類	0075	B	007501	株式会社プリンスホテル	川越プリンスホテル
85	II類	0076	B	007601	田辺三菱製薬株式会社	田辺三菱製薬株式会社戸田事業所
87	II類	0077	B	007701	東京インキ株式会社	東京インキ(株)　吉野原工場
89	II類	0077	B	007702	東京インキ株式会社	東京インキ株式会社　羽生工場
91	II類	0078	B	007801	沖電気工業株式会社	OKIシステムセンター
93	II類	0078	B	007802	沖電気工業株式会社	OKI　本庄工場
95	II類	0079	A	007900	株式会社東芝	株式会社 東芝　首都圏支社
97	II類	0079	B	007901	株式会社東芝	株式会社 東芝　深谷工場
99	II類	0080	A	008000	株式会社ニッチツ	資源開発本部 秩父営業所
101	II類	0080	B	008001	株式会社ニッチツ	資源開発本部　秩父事業所
103	II類	0081	B	008101	理研ビタミン株式会社	理研ビタミン株式会社　草加工場
105	II類	0082	A	008200	サイデン化学株式会社	サイデン化学株式会社 浦和工場
107	II類	0082	B	008201	サイデン化学株式会社	サイデン化学株式会社　東京工場
109	II類	0083	A	008300	関東化学株式会社	関東化学株式会社　埼玉営業所
111	II類	0083	B	008301	関東化学株式会社	関東化学㈱草加工場
113	II類	0084	B	008401	ダイニック株式会社	ﾀﾞｲﾆｯｸ㈱埼玉工場
115	II類	0085	B	008501	株式会社DNPプレシジョンデバイス	株式会社 DNPプレイシジョンデバイス大利根工場
117	II類	0086	B	008601	株式会社マスセイ	株式会社　マスセイ
119	II類	0087	A	008700	和光純薬工業株式会社	和光純薬工業株式会社　厚生棟ほか1事業所

PDF ページ	事業者類別	事業者番号	事業所種別	事業所番号	事業者名	事業所名
121	II類	0087	B	008701	和光純薬工業株式会社	和光純薬工業株式会社　東京工場
123	II類	0088	A	008800	株式会社ニチバン	ニチバン株式会社 大宮オフィス
125	II類	0088	B	008801	株式会社ニチバン	ニチバン株式会社 埼玉工場
127	II類	0089	B	008901	株式会社小山本家酒造	株式会社　小山本家酒造
129	II類	0090	A	009000	社会福祉法人恩師財団済生会支部　埼玉県済生会	埼玉県済生会鴻巣病院ほか10事業所
131	II類	0090	B	009001	社会福祉法人恩師財団済生会支部　埼玉県済生会	埼玉県済生会川口総合病院
133	II類	0091	A	009100	積水化学工業株式会社	積水化学工業株式会社環境・ライフラインカンパニー東日本支店関東営業所
135	II類	0091	B	009101	積水化学工業株式会社	積水化学工業株式会社　武蔵工場
137	II類	0091	B	009102	積水化学工業株式会社	積水化学工業株式会社　東京工場
139	II類	0092	B	009201	コーラゴーキン株式会社	コーラゴーキン株式会社
141	II類	0093	B	009301	石坂産業株式会社	石坂産業株式会社
143	II類	0094	B	009401	アルバック成膜株式会社	アルバック成膜株式会社
145	II類	0095	A	009500	日本化学産業株式会社	大利根工場ほか1事業所
147	II類	0095	B	009501	日本化学産業株式会社	日本化学産業株式会社　埼玉工場
149	II類	0096	B	009601	平岡織染株式会社	平岡織染株式会社　草加事業所
151	II類	0097	B	009701	東鋼業株式会社	東鋼業株式会社
153	II類	0098	B	009801	三幾飼料工業株式会社	三幾飼料工業株式会社
155	II類	0099	B	009901	株式会社報宣印刷	㈱　報宣印刷　埼玉工場
157	II類	0100	B	010001	オリエンタルエンジニアリング株式会社	オリエンタルエンヂニアリング（株）川越工場

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　河西工業㈱　寄居　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	工場照明器具ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ化より月22日稼動11642Kw節電　CO2換算月約5t削減	平成21年	110W2灯式からHF32W2灯×2台に変更
2	120100	熱源設備・熱搬送設備	12_燃焼設備の管理	冷温水発生機№1･№2　ﾀｲﾏｰにより運転時間40%減	平成22年	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

河西工業㈱　寄居事業部　　事業所BC

※希望者のみ記載

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　志木地区衛生組合　新座　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	アースクリーン活動	平成１４年度より実施済み	
2	310200	一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	運転日報、月報の管理、定期オーバーホール	平成１４年度以前より実施済み	
3	310300	一般管理事項	31_計測及び記録の管理	年報の管理、修繕計画	平成１４年度以前より実施済み	
4	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	地球温暖化防止計画の実施	平成１４年度より実施済み	
5	310500	一般管理事項	31_生産工程のエネルギー管理	中央制御盤（ＤＣＳ）による燃焼制御	平成１４年度以前より実施済み	
6	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	中央制御盤（ＤＣＳ）による燃焼制御	平成１４年度以前より実施済み	
7	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	中央操作室のボイラー監視画面により制御	平成１４年度以前より実施済み	
8	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	日常の機器点検の実施	平成１４年度以前より実施済み	
9	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	定期点検、オーバーホールの実施	平成１４年度以前より実施済み	
10	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調機器保守点検の実施	平成１４年度以前より実施済み	
11	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	日常の機器点検の実施	平成１４年度以前より実施済み	
12	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	日常の機器点検の実施	平成１４年度以前より実施済み	
13	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	日常の機器点検の実施	平成１４年度以前より実施済み	
14	390700	昇降機	39_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	定期点検の実施	平成１４年度以前より実施済み	
15	410700	事務用機器	41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	アースクリーン活動	平成１４年度より実施済み	

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　志木地区衛生組合　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	アースクリーン活動	平成１４年度より実施済み	
2	310200	一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	運転日報、月報の管理、定期オーバーホール	平成１４年度以前から実施済み	
3	310300	一般管理事項	31_計測及び記録の管理	年報の管理、修繕計画	平成１４年度以前から実施済み	
4	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	地球温暖化防止計画の実施	平成１４年度より実施済み	
5	310500	一般管理事項	31_生産工程のエネルギー管理	中央制御盤（ＤＣＳ）による燃焼制御	平成１４年度以前より実施済み	
6	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	中央制御盤（ＤＣＳ）による燃焼制御	平成１４年度以前より実施済み	
7	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	中央操作室のボイラー監視画面により制御	平成１４年度以前より実施済み	
8	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	日常の機器点検の実施	平成１４年度以前より実施済み	
9	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	定期点検、オーバーホールの実施	平成１４年度以前より実施済み	
10	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調機器保守点検の実施	平成１４年度以前より実施済み	
11	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	日常の機器点検の実施	平成１４年度以前より実施済み	
12	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	日常の機器点検の実施	平成１４年度以前より実施済み	
13	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	日常の機器点検の実施	平成１４年度以前より実施済み	
14	390700	昇降機	39_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	定期点検の実施	平成１４年度以前より実施済み	
15	410700	事務用機器	41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	アースクリーン活動	平成１４年度より実施済み	

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

志木地区衛生組合　富士見環境　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　三郷中央総合病院　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	各事業所にエネルギー担当者を任命し啓蒙活動を実施	Ｈ２３	啓蒙活動の１例はNo2の通り。CO2削減量は省エネルギーセンター「ビルの省エネ手帳」より
2	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	省エネルギー講習	Ｈ２３	エネルギー担当者に対する省エネ講習会を実施予定。CO2削減量は定量化不可（２回／年）
3	110300	一般管理事項	11_計測・記録の管理	エネルギー使用量の把握	Ｈ２３より	東京ガス『グリーンモニター』全事業所に導入。省エネルギーセンター「ビルの省エネ手帳」より
4	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	エネルギー削減目標設定	Ｈ２３より	経費３％削減設定。CO2削減量は省エネルギーセンター「ビルの省エネ手帳」より
5	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	空調温度設定	Ｈ２３	ウォームビズ、クールビズの導入 区画未定のためCO2の削減量定量不可
6	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	照明器具の清掃	Ｈ２３	CO2削減量は省エネルギーセンター「ビルの省エネ手帳」より。
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

三郷中央総合病院　　事業所A

○三郷ケアセンター
・空調部分にデマンドコントローラ導入
・飲料自販機２台交換
・飲料自販機の夜間消灯
上記対策を行い、昨年度比年間９，０４８ｋｗｈの電気量削減

○エルサ上尾
・電気量削減のため、ＢＥＮＥＸＴ導入
・職員へ広く節電を啓蒙
上記対策を行い、昨年度比年間５０，０００ｋｗｈの電気量削減

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　上尾中央総合病院　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	省エネルギー推進部会立ち上げ	Ｈ２３より	今後省エネの啓蒙活動を実施予定。CO2削減量は省エネルギーセンター「ビルの省エネ手帳」より。
2	110300	一般管理事項	11_計測・記録の管理	エネルギー使用量の把握	Ｈ２３より	東京ガス『グリーンモニター』全事業所に導入。CO2削減量は省エネルギーセンター「ビルの省エネ手帳」より。
3	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	エネルギー削減目標設定	Ｈ２３より	経費３％削減設定。CO2削減量は省エネルギーセンター「ビルの省エネ手帳」より。
4	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	照明器具の清掃	Ｈ２３より	CO2削減量は省エネルギーセンター「ビルの省エネ手帳」より。（適宜実施）
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

上尾中央総合病院　　事業所BC

○平成２１年１０月末より２台のコジェネレーションシステムの設定を変更し
　　６００ｋｗｈでスタート　⇒　１，０００ｋｗｈでスタート
　　９００ｋｗｈでスタート　⇒　１，２００ｋｗｈでスタート
とした。
発動する設定を上げることにより、従来であればシステムが発動し都市ガスを使用していたものが電気を使用することになる。都市ガス使用が電気使用に代替となり、CO_2削減になった。

○職員に対し３階以内のエレベータ使用を制限することを徹底し、電気使用量を減らした。

○バックヤード部門の冷暖房温度設定を、夏は２８℃　冬は２０℃と決めることにより
エネルギー使用量を削減した。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　大倉工業㈱埼玉工　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	事業所内で環境管理組織を定め、環境マネージメントシステム運用の定着を実現する。	平成21年度	
2	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	事業所におけるエネルギー使用管理台帳の整備	平成21年度	
3	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	節電型ランプに交換	平成21年～24年	
4	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	３台のボイラー設備の熱源共有化(ヘッダー設置)	平成21年度	
5	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ラミネート・一般工場の空気圧縮機(２台)をインバーター式に更新	平成21年度	
6	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	ドライラミ機２台乾燥用ダクト配管工事により廃熱再利用によりLPGガス消費削減	平成21年度	
7	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	７色印刷機乾燥ブロアー６０㎥⇒４０㎥へ変更し省エネを図る。	平成21年～22年	
8	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	印刷工場の空気圧縮機の更新し、インバーター化を図る。	平成22年度	
9	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	VOC回収装置回収用ブロアーのインバーター化を図る。	平成21年～22年	
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

大倉工業㈱埼玉工場　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　熊谷生協病院　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	法人にエネルギー統括管理者とエネルギー管理企画推進者を選任する	平成22年度	削減効果は見えるﾚﾍﾞﾙではない
2	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	空調設備の冷媒を交換して効率の良いものにしていく	平成23年度	
3	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	蛍光灯安定器を磁気式から逐次電子式へ交換	平成24年度	削減効果は見えるﾚﾍﾞﾙではない
4	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	証明用の蛍光灯を順次ＬＥＤに交換していく	平成25年度	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

熊谷生協病院　　事業所A

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　埼玉協同病院　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	120700	熱源設備・熱搬送設備	12_蒸気の漏えい及び保温の管理	蒸気配管に保温ジャケットを装着	平成２０年度	
2	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	蛍光灯安定器を磁気式から逐次電子式へ交換	平成２０年度	故障時交換で累計台数が数十のため、削減効果は見えるレベルではない。
3	120300	熱源設備・熱搬送設備	12_運転管理及び効率管理	暖房用熱交換機の設定温度変更(45℃⇒60℃)	平成２１年度	CO2削減量の検証はできていない。
4	120500	熱源設備・熱搬送設備	12_熱搬送設備の運転管理	冷温水ポンプのインバーター制御導入	平成22年度予定	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

埼玉協同病院　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　東武冶金株式会社　本社　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	130300	給湯設備、給排水設備、 冷凍冷蔵設備、厨房設備	13_換気設備の運転管理	室温管理での空調機の電力削減	23年度より実施	空調機を室温により1台・2台と管理する
2	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	照明点灯時間の管理による電力量の削減	21年度より実施中	昼休みの及び就業外の消灯管理
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

東武冶金株式会社　本社事務所　　事業所A

※希望者のみ記載
本社事務所として21年度活動してきた内容としては、電力使用量の削減を目標に進めてきたが結果は削減目標数値をオーバーしてしまった。原因としては温暖化の影響が大きい。窓はブラインドでの断熱を行っているが、各社が入っているオフィスビルの為、照明・省エネエアコン等の改造も出来ず、断熱効果もある2重窓などの改造もむづかしい。そのような状態での22年度削減に向かって、現状調査で留まっている。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　東武冶金株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	地球温暖化対策に関する定期的な省エネルギー教育の導入	23年度	地球温暖化対策CO2削減計画に対する実施計画と事業所での取組みに対する教育実施
2	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	各燃焼炉の空気量調査の上管理基準として定め燃焼の改善をする	22年度	燃焼炉において効率の良い燃焼を行うためバーナーの空気量を日常管理する
3	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	バーナーを含め燃焼設備の定期的な点検の実施	23年度	現在燃焼設備の定期保全点検は実施しているが燃焼バーナーについては未実施であったので今後検討の上保全計画に盛込む
4	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	工場・事務所において不要時照明消灯の管理要領の作成	22年度	工場内・事務所において各自が自発的に不要時の消灯をしているため今後管理要領を作成し管理された状態にする
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

東武冶金株式会社　久喜工場　　事業所BC

※希望者のみ記載

当事業所においては平成20年度よりブタンガス(10Tonタンク)より都市ガスに変更した。そのためCO_2が大きく削減できた。21年度の取組んだ内容としては、事業者による「環境方針」である(1.電力、LPG等の削減に努め省エネルギーを推進する。2.鉄類、油、紙等の節約に努め省資源活動を行う。3.廃棄物の分類、リサイクルによりその削減に努める。)を基本方針とし事業所においては、

1.「エネルギーの削減」を目標として取組んだ。景気低迷も有り顧客先からの熱処理依頼材料の入荷にも大きな減少があり、加熱炉の点火・消火を繰り返すことを余儀なくされた。そのため点火時間を出来るだけ長く行うよう、3其ある設備に対して出来るだけ1基に集約して効率良く稼動させるよう日々稼動実施計画を変更した。その為か前年20年度と比較した場合、処理重量1Ton当りに使用する都市ガス量が21年度は5%削減できた。また当然であるが処理材料も少なかったため20年度と比較すると21年度の年間ガス使用量は14%削減した。

2.「資源の削減」での目標では、焼入油の使用量の削減を実施した。これも処理依頼材料の大幅減の影響もあるが、20年度27000Lに対して21年度は11600Lと約57%の削減となった。

今回の「地球温暖化対策計画」では、CO_2を削減するための設備の改造・ガスを燃焼することによる設備ならびにバーナーの管理、また燃焼での良好なガス・空気量の把握管理が要求される中、当事業所では加熱炉の消火にあたっては炉の開放口である入口に鉄板で蓋をして炉内残熱を蓄熱する方法をとっている。ただ今回の「削減対策に係る点検表」で現在の事業所をチェックすると、CO_2削減に対する設備の管理に対策をとる内容が多く、今後計画を立てて事業所はもとより事業者単位で対策計画が必要と判断した。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　国保会館　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	180200	その他	18_その他	OCR機の運用方法見直しによる機器台数の削減	平成22年度	平成22年度の途中から実施
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

国保会館　　事業所A

ＡＧＳグループの平成２１年度の環境分野への取組は以下のとおりである。

１．地域環境活動

(1) 自然環境活動（植林活動）

平成２１年１０月３１日（土）、「埼玉県森林づくり協定」に基づき、埼玉県東秩父村の二本木峠と埼玉高原牧場用地にツツジ、コナラ、カエデやモミジなど約４００本の苗木を植樹しました。

来年度も約４００本の苗木を植樹する予定であり、森林の果たす役割（二酸化炭素の吸収、県土の保全、水資源のかん養、生物多様性の保全等）の重要性を認識し、植林活動を推進します。

(2) 教育支援活動

環境保護と教育支援活動の推進を図るために、ベルマーク（カートリッジの回収）や古紙等を地域小学校PTAへ毎年度提供しています。

２．環境管理活動

(1) 電気使用量の削減

① ＡＧＳグループオフィス系執務室の平成２１年度の削減は１，７８５，５４１Kwhとなり、平成２０年度比４．３％削減を行いました。

３．その他

チャレンジ２５への参加登録を実施しました。

チームマイナス６％の切替ですが、引続き平成２１年度も「クールビズ」、「ウォームビズ」の実施、グリーン購入（エコマーク、グリーンマーク、グリーン購入法適合商品を優先的に購入する）の推進を図っています。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　本社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	180200	その他	18_その他	CPU運用見直しによる削減	平成22年度	年度の途中より実施
2	180200	その他	18_その他	社内サーバの統合	平成22年度	年度の途中より実施
3	180200	その他	18_その他	執務室集約化に伴う不要スペースの排除	平成22年度	年度の途中より実施
4	180200	その他	18_その他	大型プリンターの運用見直しによる削減	平成22年度	年度の途中より実施
5	180200	その他	18_その他	ディスクトップPCをノートＰＣへ切替	平成22年度	年度の最後に実施のため、効果は翌年度から
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

本社　　事業所BC

ＡＧＳグループの平成２１年度の環境分野への取組は以下のとおりである。

１．地域環境活動

(1) 自然環境活動（植林活動）

平成２１年１０月３１日（土）、「埼玉県森林づくり協定」に基づき、埼玉県東秩父村の二本木峠と埼玉高原牧場用地にツツジ、コナラ、カエデやモミジなど約４００本の苗木を植樹しました。

来年度も約４００本の苗木を植樹する予定であり、森林の果たす役割（二酸化炭素の吸収、県土の保全、水資源のかん養、生物多様性の保全等）の重要性を認識し、植林活動を推進します。

(2) 教育支援活動

環境保護と教育支援活動の推進を図るために、ベルマーク（カートリッジの回収）や古紙等を地域小学校PTAへ毎年度提供しています。

２．環境管理活動

(1) 電気使用量の削減

① ＡＧＳグループオフィス系執務室の平成２１年度の削減は１，７８５，５４１Kwhとなり、平成２０年度比４．３%削減を行いました。

② 汎用機ディスク装置の集約を図り、ＩＤ機器関連の消費エネルギーの削減を図っています。

３．その他

チャレンジ２５への参加登録を実施しました。

チームマイナス６%の切替ですが、引続き平成２１年度も「クールビズ」、「ウォームビズ」の実施、グリーン購入（エコマーク、グリーンマーク、グリーン購入法適合商品を優先的に購入する）の推進を図っています。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　株式会社ホンダロ　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	保温カバー設置による放熱改善（樹脂成形機）	平成22年度	
2	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	工場全体空調停止	平成24・25年度	
3	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	工場排気ファンインバータ化	平成22年度	
4	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	蒸気ドレイン回収	平成21年度実施	
5	310500	一般管理事項	31_生産工程のエネルギー管理	回転塗装による生産効率アップ	平成20年度実施	
6	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	エアコンプレッサー更新（水冷⇒空冷）	平成20年度実施	
7	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	ボイラーガス化更新（燃料転換によるＣＯ２削減）	平成20年度実施	
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

株式会社ホンダロック川越工場　　事業所BC

※希望者のみ記載

（１）環境推進委員会活動
・ＩＳＯ１４００１取得後の継続展開と有益な環境側面への取組み展開
①環境マネジメント計画の月度進捗確認
②川越工場内の監視測定状況確認
③省エネ・リサイクル積極展開
・節電/節水/節エネルギー（空調管理等）
・各課温室度計設置～空調温度管理
・利益対策（ケチケチ展開）展開

（２）廃棄物分別の徹底継続
・廃棄物置場管理状況と分別状況の確認
①廃棄埋立て物「０」定着
②廃棄処分場の確認

（３）環境問題に関する啓蒙活動の推進
・環境関連講習会研修会の参加
・環境関連資格取得支援
・定期委員会活動

（２）ＣＯ２発生量削減展開（平成20年～平成22年）

	考え方	施策	実施時期
1	代替燃料によるCO2削減	ボイラー燃料の重油からガスへの置換	平成20年
2	設備更新時 省エネ仕様選定、 CO2削減施策の反映	エアーコンプレッサー更新 ＜コンプレッサー空冷化＞ ・負荷追従タイプ及び複数台稼動制御 ・クーリングタワー冷却循環の廃止 電力使用量の削減（CO2削減）	
3	日常エネルギームダ削減 エネルギー固定分の削減	従業員全員による省エネ意識UP ・電気のこまめなON･OFF ・照明マップによる点灯規制 ・不稼動設備の完全停止 休日電力の削減 （工場全体チラー、コンプレッサー停止）	平成20年 ↓ 平成21年 継続

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　ＫＤＤＩ株式会社　北関　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110200	一般管理事項	11_主要設備等の保全管理	省エネタイプ携帯基地局の導入	平成21年度より実施	新規に携帯基地局の省エネタイプを導入。
2	110200	一般管理事項	11_主要設備等の保全管理	既存携帯基地局の省エネモード運転	平成22年度	既存の携帯基地局を省エネモードで運転。
3	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	事務所消灯、クールビズ及びウォームビズの実施	平成16年度より実施	職場エコ活動の一環として、昼休みの事務所消灯、クールビズ、ウォームビズの実施。
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

ＫＤＤＩ株式会社　北関東総支　　事業所A

※希望者のみ記載

KDDIは、太陽光発電と蓄電池の連携、および深夜電力を活用するトライブリッド方式（注1）電力制御技術を、2009年12月下旬より、au携帯電話基地局に対して実験的に導入しています。
これまで、太陽光発電を設置した基地局は、主に商用電力の利用が難しい地域に導入していました。また、全基地局に装備している蓄電池の用途は、停電時のバックアップに限定されていました。
今回KDDIが開発したトライブリッド方式電力制御技術は、太陽光パネルで発電された電力、深夜電力により蓄電池に充電された電力、商用電力の3つの電力を制御し、時間帯ごとに最も効率的に基地局へ供給することで、CO2の排出削減をするものです。本技術により、商用電力の使用量とCO2排出量において、それぞれ20%から30%（注2）の削減が見込まれます。
さらに、蓄電池の小型・軽量化や長寿命化、鉛金属削減による環境負荷の低減を図るため、これまで主流であった鉛タイプの蓄電池に加え、リチウムイオン電池を用いた検証を進めるとともに、設置環境における課題を抽出し、本格導入に向けた検証を行います。
今後、この電力制御技術を通信局舎やデータセンター、家庭での利用拡大が期待されている省エネシステム（スマートハウス）へ活用することを検討していきます。これからもKDDIは、グローバル企業として重要な責務である地球環境保護の推進に取り組むため、環境に配慮したさまざまな活動を継続的に実施していきます。

注1）各分野の産業技術において、3種類の技術を組み合わせることを称する造語。一般的に2種類の技術の組み合わせを「ハイブリッド」と呼び、3種類の技術の組み合わせを「トライブリッド」と呼ぶ。
注2）当社実験結果から算出。

詳細は下記アドレスよりＣＳＲレポートをご覧下さい。
http://www.kddi.com/corporate/csr/csr_report/2010/pdf/csr_report_2010.pdf

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　ＫＤＤＩ株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	ｸｰﾙﾋﾞｽﾞ、ｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞ	平成16年度より実施	空調の設定温度を適正に管理し、夏場はｸｰﾙﾋﾞｽﾞ、冬場はｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞにしている。
2	110200	一般管理事項	11_主要設備等の保全管理	照明器具間引き運転	平成18年度より実施	機械室、事務室等の照明器具間引き運転。
3	110200	一般管理事項	11_主要設備等の保全管理	交換機等不要パネルの伐去	平成21年度	交換機等で不要なパネルの伐去。
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

ＫＤＤＩ株式会社　浦和ネット　　事業所BC

※希望者のみ記載

地球温暖化対策
KDDIは、通信設備やオフィスで使用する電力の削減、お客さまの利便性を損なわない省資源の実現などを目標に、具体的な成果を目指して、さまざまな取り組みを実施しています。

ソーラー発電システム
KDDIでは、2003年度から事業用通信設備に関する中期的な省エネルギー計画を策定し、設備の規模や内容に適したきめ細かな施策を、省エネルギーに配慮した設備運用の両面から推進しています。また、クリーンエネルギーにも積極的に取り組んでいます。
2008年度に竣工した多摩第4ネットワークセンターでは、建物自体を高断熱構造にすることで、さらに省エネ化するとともにソーラーパネルを搭載した街路灯を設置し、地域保安にも貢献しています。

ソーラー基地局
当社は使用電力量の約6割を占める携帯電話の基地局における省エネ化にも注力し、太陽光発電だけでまかなう基地局を建設しています。また、基地局設備の高効率化、小型軽量化による省スペース化に加え、空調設備が不要な基地局を開発、2009年度に導入しました。
さらに、2009年12月に、商用電力・太陽光発電・蓄電池を組み合せたトライブリッド方式電力制御技術を採用した基地局の試験導入を行います。

省資源への取り組み
 WEB de 請求書請求書を電子化し、au携帯電話やパソコンなどで月々のご請求額や明細情報をご確認いただける、WEB de 請求書を提供しています。紙資源や郵送に関わるエネルギーを節減し、温室効果ガスや廃棄物の削減にもつながります。

au携帯電話の充電用アダプター共通化
従来は機種ごとに異なっていたau携帯電話の充電ACアダプターを、2005年度に発売された機種から、一部機種を除いて共通化しました。機種変更の際にも不要充電用アダプターが発生しなくなることで省資源へつながり、また複数の充電用アダプターを使い分ける手間が省けることで、お客さまの利便性も向上しています。

取扱説明書の小型化による紙使用量削減
携帯電話の多機能化にともない、増加傾向にあった取扱説明書のページ数を削減するとともに、小型化を実現しました。加えて、別冊として同梱していた「かんたんマニュアル」をより分かりやすく漫画形式とし、取扱説明書の巻頭に集約したことにより、紙の全体の使用量を約50%削減を実現しました。

環境博覧会すぎなみ2009において、「ダイエット賞」を受賞
携帯電話の長寿命化推進KDDIはお客さまの好みに合った携帯電話は長くお使いいただくことができ、省資源化につながると考え、携帯電話を自分仕様にカスタマイズできるサービスを提供しています。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　竹田印刷株式会社関東事　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310500	一般管理事項	31_生産工程のエネルギー管理	仕事の状況に応じて機械を停止。	平成２２～２６年度	
2	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	設定温度での運用	平成２２～２６年度	削減効果について数値が少ない為、算出不可
3	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	非使用室の空調停止	平成２２～２６年度	削減効果について数値が少ない為、算出不可
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

竹田印刷株式会社関東事業部鳩　　事業所A

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　竹田印刷株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310500	一般管理事項	31_生産工程のエネルギー管理	仕事の状況に応じて機械を停止。	平成２２～２６年度	
2	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	設定温度での運用	平成２２～２６年度	削減効果について数値が少ない為、算出不可。
3	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	非使用室の空調停止	平成２２～２６年度	削減効果について数値が少ない為、算出不可。
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

竹田印刷株式会社関東事業部越　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　株式会社ジーエ　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	乾燥脱臭装置の外壁断熱加工	平成21年度	熱効率向上。24年度に2ライン目に施工
2	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	刷版、使用資材変更による電熱機器の使用停止	平成21年度	消費電力の低減。
3	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサー更新。高効率機種の採用	平成22年度	消費電力の低減。22年度下期施工46%　23年度より100%
4	490200	その他	49_その他の削減対策	印刷機　切断制御/自動見当装置の更新。	平成21年度	製品良品率の向上。22年度中に3ライン目に施工
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

株式会社ジーエーシー　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　日本ワイパブレー　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	主要生産設備のエネルギー使用量管理	平成22年	
2	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	塗装乾燥炉側面断熱	平成21年	
3	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	塗装乾燥炉天井、床面断熱	平成22年	
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	工場空調タイマー運転	平成21年	
5	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	工場空調冷暖房設定温度固定	平成21年	
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	生産ラインプルスイッチ取付	平成21年	
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	組立ﾗｲﾝ高輝度照明導入	平成21年	
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	レイアウト変更照明数削減	平成21年	
9	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	プレス工場照明改善	平成22年	
10	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	事務所照明改善	平成22年	
11	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	小部屋空調回収による削減	平成23年～	
12	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	成型機断熱による放熱防止	平成22年	
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

日本ワイパブレード株式会社　　事業所BC

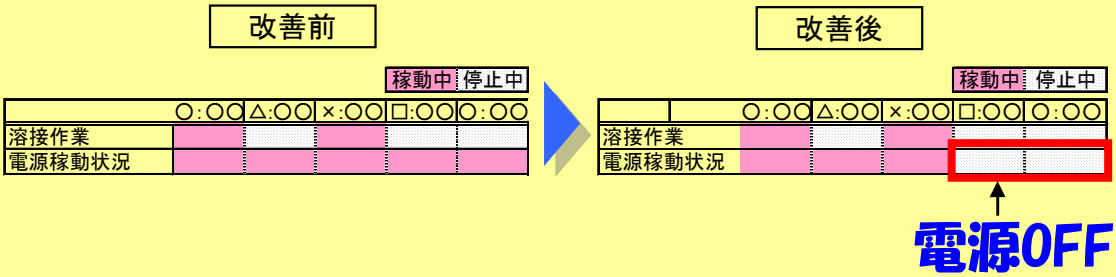
※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　株式会社エフテック久喜　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサーの台数制御による高効率運転化（２台→１台に変更）	平成22年度	対策を22年度の8月に実施する為、22年度の年間効果は8ヶ月分とする
2	490200	その他	49_その他の削減対策	不稼動時（平日の終業時間帯、休日）の電源ＯＦＦ活動	平成22年度	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

～不稼動時エネルギーロス削減展開～

【内容】
溶接設備及びその他M/Cの電源は、ライン装置のデータ損失等の関係で休日や夜間の不稼動時でも電源がONの状態になっていた（待機電力）。



その他、計画作成における特記事項

・平成20年度、21年度については世界的不況の影響で生産量が減少し、それに伴いCO2排出量も減少している。
この為、22年度～26年度の計画は、平成18年度のCO2排出量を基準として作成している。

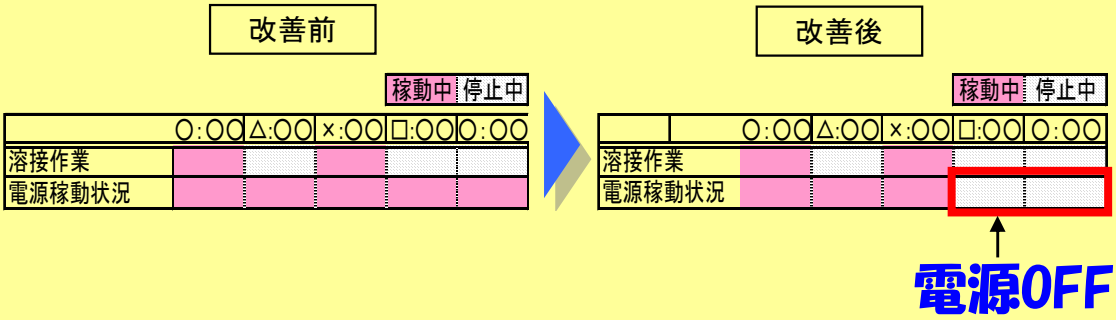
別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　株式会社エフテッ　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	水銀灯の高効率照明器具への変更（約７０灯）	平成22年度	対策を８～９月に実施する為、22年度の年間効果は８ヶ月間とする。
2	490200	その他	49_その他の削減対策	業務用エアコンの高効率タイプへの変更（６台）	平成22年度	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

株式会社エフテック 本社, 久喜　　事業所BC

～不稼動時エネルギーロス削減展開～

【内容】
溶接設備及びその他M/Cの電源は、ライン装置のデータ損失等の関係で休日や夜間の不稼動時でも電源がONの状態になっていた（待機電力）。



その他、計画作成における特記事項

・平成20年度、21年度については世界的不況の影響で生産量が減少し、それに伴いCO2排出量も減少している。
この為、22年度～26年度の計画は、平成17～19年度のCO2排出量の平均排出量を基準として作成している。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　越谷工場(共同オフセッ　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

※希望者のみ記載

・平成２２年４月に越谷工場は、共同オフセット株式会社に貸与されました。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　共同印刷株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	蒸気配管：メンテナンス部（バルブ等）保温材設置	平成２２年度	
2	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	１号棟東側水冷式空調機更新（ヒーポン）	平成２３年度	クーリングタワー（225ｔ）撤去
3	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	１号棟西側水冷式空調機更新（ヒーポン）	平成２４年度	クーリングタワー（225ｔ）撤去
4	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	共用部（廊下・トイレ）照明器具を順次ＬＥＤ化	平成２２年度～	４０W器具の撤去
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	一部作業職場をＨｆ蛍光灯に順次変更	平成２２年度～	４０W器具の撤去（適正照度による間引き）
6	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	送風機：順次、現状を把握し適正風量化してインバータ制御する	平成２２年度～	
7	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	空気圧縮機：1台をインバータ制御式に更新	平成２３年度	工場内の空気圧縮機（６台）がインバータ化（台数制御）
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	共用部（食堂）照明器具をＬＥＤ化	平成２３年度	４０W器具の撤去
9	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	共用部（２号棟1階休憩室）照明器具をＬＥＤ化	平成２４年度	４０W器具の撤去
10	130200	空気調和設備・換気設備	13_空気調和設備の効率管理	新2号棟吸収式空調機２台更新（ヒーポン）	平成２５年度	ボイラー3台中2台停止、クーリングタワー（１７５ｔ）2台撤去
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

共同印刷株式会社　ﾋﾞｼﾞﾈｽﾒﾃﾞｨ　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　共同印刷株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ室空調増設とｿﾞｰﾆﾝｸﾞの適正化	平成２２年度	
2	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	局所冷房負荷対応エアコンの導入	平成２３年度	
3	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	紙片輸送･処理装置のｲﾝﾀｰﾛｯｸ導入	平成２４年度	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

共同印刷株式会社　ﾋﾞｼﾞﾈｽﾒﾃﾞｨ　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　東芝ﾓﾊﾞｲﾙﾃﾞｨｽﾌﾟﾚ　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	ボイラー運転管理の見直し（燃焼効率改善）	平成23年度	
2	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	#601クリーンルーム空圧設定変更（20Pa→15Pa）	平成21年度	
3	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	#601空調風量の見直し（風量バランス調整、ファンの削減）	平成21年度	
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	#601クリーンルームの空調効率改善	平成22年度	
5	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	#601外調機の排熱再利用	平成24年度	
6	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	高効率ターボ冷凍機更新	平成25年度	
7	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	#601変電設備Ｌバンクトランス統合	平成21年度	
8	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	#601コンプレッサーエアー圧力上限値変更（0.8MPa→0.78MPa）	平成21年度	
9	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ゼロパージドライヤの導入（コンプレッサー）	平成25年度	
10	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	インバータコンプレッサーと台数制御装置導入	平成26年度	
11	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	窒素発生装置の運転調整（MOS#1停止による適正容量化）	平成21年度	
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

東芝ﾓﾊﾞｲﾙﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ（株）本社　　事業所BC

※希望者のみ記載

平成21年度の具体的な取り組み内容

取り組み項目		対　策　内　容	2009年度実績（実施状況）	評　価
	CO_2排出量の削減	クリーンルーム空圧設定変更（20Pa→15Pa）	CO_2排出量：35,871t-CO_2 '07年度比 46.7%削減 （目標：'07年度比 20%削減）	○ 目標達成
		空調ファンの運転台数見直し・削減		
		ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰｴｱｰ圧力上限値変更 （0.8MPa→0.78MPa）		
		変電設備Lバンクトランス統合による効率運転		
		省エネタイプのエアコン・照明器具の導入促進		
		生産ラインの統廃合による余剰設備の整理		
	廃棄物排出量の削減	廃液濃縮装置の管理基準見直し（倍率アップ）	総排出量：1,374t '07年度比 29%削減 （目標：'07年度比 28%削減）	○ 目標達成
		歩留まり改善による製品廃棄物の削減		
		資料・配布物の電子化推進		
		排出元における排出物減量管理の徹底		
		排水処理システムの管理基準見直しと最適条件での運転管理	排水処理汚泥排出量：500t '07年度比 57.5%削減（目標：28%）	○ 目標達成
	ゼロエミッションの推進	廃棄物処分先の残渣率調査・見直し	最終処分率：0.33% （目標：0.4%以下）	○ 目標達成
		分別廃棄の徹底		
	資源の有効活用	排水処理汚泥の肥料への転用	肥料転用引取り率：0% （目標：5%以上）	× 目標未達
	化学物質排出量の削減	有機排ガス燃焼除害装置の効率運転	対象物質排出量：14,906kg '02年度比 74.6%削減 （目標：'02年度比 50%削減）	○ 目標達成
		スクラバーの排ガス除去率見直し・改善		
		歩留まり改善による化学物質使用量の削減		
		生産ラインの統廃合による化学物質使用量の圧縮		
	その他	全従業員への環境教育の実施	教育受講率 100%	○ 目標達成
		主要協力会社への指導・支援（環境点検実施）	指導・支援対象2社，100%実施	
		地域社会貢献活動の推進	1回/月の工場周辺の清掃実施	
製品に関する項目	環境調和型製品の提供	省エネ・省資源商品設計の推進	製品環境自主基準 の適合比率：65% （目標：52%）	○ 目標達成
		製品アセスメントの実施		
		調達部品の含有物質適合性評価の実施とデータベース化の推進	製品に含まれる化学 物質25群の廃止率 ：90% （目標：80%以上）	○ 目標達成
		製品アセスメントの実施		

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　ＤＩＣ株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	廃熱回収蒸気ボイラ設置	H13年9月	
2	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	給排気方法見直し	H19年7月	
3	120600	熱源設備・熱搬送設備	12_廃熱回収の管理	蒸気共通連絡配管・更新時拡径によるコージェネ蒸気利用率増	H21年10月	
4	310200	一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	エアー漏れ検査装置による配管系診断	H14年8月	
5	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	工水ポンプ・圧力/台数制御	H15年4月	
6	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調更新	H15年7月	
7	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	屋根への遮熱塗料導入	H16年8月	
8	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	温排水のボイラー給水化再利用（乾燥機ドレンの回収再利用）	H17年2月	
9	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	大型コンプレッサー停止／小型稼動省エネ	H17年12月	
10	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	クリーンルーム空調運転・省エネ化	H17年12月	
11	340500	発電専用設備、コージェネレーション設備	34_熱の動力等への変換の合理化に関する措置	コージェネレーション設備（CGS）導入	H18年11月	
12	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	ドライヤガス濃度自動制御・脱臭炉助燃都市ガス削減	H19年8月	
13	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	ドライヤガス濃度自動制御・脱臭炉助燃都市ガス削減	H20年7月	
14	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	塗工機増設工事/動力設備へのインバータ採用	H20年10月	
15	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	塗工機増設工事/乾燥機ドレンのボイラー給水化再利用	H20年11月	

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

ＤＩＣ株式会社　埼玉工場　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　学校法人東京電機　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	効率の良い空調機器への設備更新	平成22年～26年	
2	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	効率の良い照明機器への設備更新	平成23年～26年	
3	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	不在の部屋の照明消灯を確実に行う	平成２２年度より実施	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

学校法人東京電機大学　埼玉鳩　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　第一化成㈱ 埼玉事　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	ボイラーの使用燃料変更	H13.8月	A重油焚ボイラー→ガス焚ボイラー
2	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	蒸気配管改修	H22.9月実施予定	直列からヘッダーにて単独配管に改造
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

第一化成㈱ 埼玉事業所　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　冨士印刷株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	テント小屋照明工事　　10,000KWH	平成２１年度	
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	工場内照明　水銀灯全交換　17,280KWH	平成２１年度	
3	310200	一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	11号印刷機　使用停止へ　　39,564KWH　40.9t	平成２２年度	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

冨士印刷株式会社　埼玉事業部　　事業所BC

※希望者のみ記載
印刷業界の不況により　仕事の単価も下がり作業量も極端に減少しました。以前に比べて、印刷機を運転しても売上げに跳ね返らず、エネルギーのロスが増えました。
今年から１１号機を完全に停止し、運転を休止いたしました。仕事量イコール売上げ高そしてエネルギーの使用量と連動するように　今年度から取り組みます。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　信越ポリマー株式　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	高効率蛍光灯へ更新	平成22年度～平成24年度	
2	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	省ｴﾈﾍﾞﾙﾄの採用	平成22年度～平成24年度	
3	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	高効率モーターの採用	平成22年度～平成24年度	
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調機の間欠運転	平成22年度～平成24年度	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

信越ポリマー株式会社　東京工　　事業所BC

※希望者のみ記載

信越ポリマーグループの【環境保全への取り組み】について、ホームページに「環境・社会報告書」を公表しています。
　アドレス：http://www.shinpoly.co.jp/environment/index.html

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　信越ポリマー株式　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	第1棟300KVAトランス切り離し	平成21年度	
2	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	1棟、2棟１F西側窓遮光フィルム貼り付け	平成21年度	
3	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	事務棟、1棟１F南側窓遮光フィルム貼り付け	平成22年度	
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	2棟2F南側窓、その他部分　遮光フィルム貼り付け	平成23年度	
5	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	圧空漏れ箇所の調査及び修繕、 コンプレッサー圧力、ｴｱｰﾌﾞﾛｰ圧力の低圧化	平成21～26年度	
6	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	油圧ﾎﾟﾝﾌﾟ、ｲﾝﾊﾞｰﾀorｱｷｭｰﾑ取付による省エネ 材料供給装置、油圧ﾌﾟﾚｽに随時展開	平成22～24年度	
7	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	恒温恒湿室・塗装室の空調、排気装置　休日停止ｏｒ低速運転	平成22年度	
8	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調温度管理・終業時「切」の徹底、 空調室内、室外機清掃。空調の効率化検討。	平成22年度	
9	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	乾燥機　廃熱回収設備の検討・調査 効果のあるものを随時導入展開。	平成22～25年度	
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

信越ポリマー株式会社　児玉工　　事業所BC

※希望者のみ記載

信越ポリマーグループの【環境保全への取り組み】について、ホームページに「環境・社会報告書」を公表しています。

アドレス：http://www.shinpoly.co.jp/environment/index.html

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　大宮第二工場　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	ボイラーにエコジャケット設置	平成22年度	大宮第二工場
2	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	不良蒸気トラップ交換	平成26年度	大宮第二工場
3	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調室外機洗浄	平成22年度から	大宮第二工場で毎年実施
4	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサー更新	平成24および25年度	幸手事業場で2期に亘って実施
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明機器の更新（LED照明の採用）	平成25年度から	大宮第二工場、幸手事業場
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

大宮第二工場　　事業所A

※希望者のみ記載

大宮第二工場、幸手工場および幸手研究所、さいたま分室、騎西物流センターの4事業場の合算が本報告書である。

このうち、幸手工場と幸手研究所は一体の事業場であってユーティリティー関係は共通管理となっていて、それぞれ数名が在籍している微小規模の事業場である。

さいたま分室と騎西物流センターは、大きな動力を使用する設備はなく、営業活動におけるサポート事業場である。

この4事業場の中では大宮第二工場が大半のエネルギーを消費している。大宮第二工場は平成14年に開業した比較的新しい工場である。当社の全体の省エネ活動はこれまで歴史ある大宮工場を主体に実施してきており、第二工場などはこれからというところである。

別紙3から明らかなように、大宮第二工場が平成14年2月に開業して、平成18年度までエネルギー起源CO2排出量原単位（売上高）は低下し続けた。しかしその後は低い率ながら原単位が上昇し続けている。これは第二工場の経営が安定するまでに5年間要したこと、また、合算相手の幸手工場の生産高が低迷を続けていることとさいたま分室の増員、騎西物流センター開業などが影響したと解釈している。

22年度は大宮第二工場の主たる受託生産品の受託製造価格が大きく引き下げられたことによって、21年度に比べ22年度予想売上高は約25％低下する。エネルギー起源CO2排出量を削減していく計画であるが、22年度原単位は21年度と比べ大きく増加する見込みである。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　高田製薬株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	蒸気建物別コントロール弁設置	平成23年度	
2	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	不良蒸気トラップの更新	平成25年度	
3	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	熱排水再利用	平成22年度	
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	ＡＣ－１．ＡＣ－２空調機更新	平成22年度	実施済み
5	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	各部屋エアコン更新	平成22年度	毎年実施
6	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調の室外機洗浄	平成22年度	毎年実施
7	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	１号棟屋上冷凍機〔チラー〕更新	平成23年度	
8	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	１号棟注射用空調機更新	平成24年度	
9	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	キュービクル変圧器更新	平成23、25年度	二カ所実施
10	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明機器反射板タイプへ更新〔管理棟・開発棟・技管棟〕	平成23年度	
11	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明機器の更新ＬＥＤ照明〔工場棟〕	平成24年度	
12	390700	昇降機	39_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	管理棟エレベーターのリニューアル	平成22年度	実施済み
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

高田製薬株式会社大宮工場　　事業所BC

※希望者のみ記載

21年度彩の国エコアップ宣言に参加、各職場から環境委員18名と事務局（工務部）4名を中心に種々な環境改善活動を推進。

＊ウオームビズ＆クールビズ活動
＊ライトダウンキャンペーン参加
＊カーフリーデー参加、アイドリング禁止
＊ノー残業デー実施
＊社員一斉清掃活動
＊各職場で廃棄物分別強化、再資源化率アップ活動
＊待機電力削減で停止中の機器のコード引き抜き活動
＊無人室の消灯徹底

おもな省エネ設備活動

＊精製水製造装置から発生する比較的な純度の高い膜洗浄水を回収して、冷却塔に接続。
＊第1回蒸気トラップ診断実施、劣化したトラップ交換。
＊一部空調機の室外機を高圧洗浄実施。
＊研究開発棟、技術管理棟のエアコンを省エネ型に交換
＊ボイラー蒸気ヘッドバルブにサーモジャケット設置

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　高田製薬株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	電力監視装置の導入	平成22年度	
2	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	使用燃料の変更（重油→都市ガス）	平成24年度	
3	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	蒸気配管系、バルブ等への断熱カバー取り付け	平成22年度より	毎年順次実施
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷暖房温度を政府等の推奨する設定とする	平成22年度より	適宜実施
5	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調の室外機洗浄	平成25年度より	毎年実施
6	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	閉止弁の増設、不要時の負荷低減	平成22年度	
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明機器の更新（LED照明への転換）	平成24年度より	毎年順次実施
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	過剰又は不要な照明の消灯	平成22年度より	適宜実施
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

高田製薬株式会社北埼玉工場　　事業所BC

※希望者のみ記載

北埼玉工場は平成18年4月に開業し、平成21年まで次第に生産高、売上高が伸長してきた。しかし、未だ生産は安定せず、北埼玉工場単独での黒字利益を計上できるまでに至っていない。

最新鋭の工場だけに、省エネに有効なインバーター制御の機械を多く設置し、大型機械類や空調系統など管理室において中央監視するシステムを導入している。さらにエネルギー使用状況の精密な監視が可能なように、改善作業中である。

また、建設当時は天然ガス配管が工場地帯に到達していなかったため、現在は重油ボイラーを使用中である。しかし平成21年秋に都市ガス配管が北埼玉工場正門前道路に到達したことから、エネルギーのガス転換を図ることが省エネ効果が大きい施策である。

一方、最新鋭工場だけに重油ボイラー関係の設備の減価償却が進んでいないため、近年中のエネルギー源転換工事着手は経営的には厳しいものがあり、補助金の導入を考えている。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　明星食品株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310300	一般管理事項	31_計測及び記録の管理	コンプレッサーの圧縮空気使用量の管理	平成22年9月	製品倉庫用
2	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	圧縮空気の漏れ防止対策	平成22年6~7月	製造現場
3	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	蒸気トラップ点検及び不良箇所の交換	平成22年6月	一回目
4	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	蛍光灯照明器具の更新及び人センサータイプを設置	平成22年7~10月	製造現場
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ＬＥＤランプに更新	平成22年9月	製品倉庫
6	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	老朽化したパッケージエアコンの更新	平成22年7~9月	製造現場
7	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	外気温調用冷温水に制御用三方弁設置	平成22年8月	製造現場
8	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	蒸気トラップ点検及び不良箇所の交換	平成22年10月	２回目
9	310500	一般管理事項	31_生産工程のエネルギー管理	蒸気など使用量監視サーバーの更新	平成22年12月	蒸気・圧縮空気・水の使用量管理
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

明星食品株式会社　嵐山工場　　事業所BC

※希望者のみ記載

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　関東流通センター　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管理	ラック昇降機の効率的運用	平成23年度	
2	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	温度管理の厳密化と断熱処理追加、区分空調化の推進	平成22年度	
3	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	省電力機への順次取り替え推進及び照明器具位置の見直し	平成22年度	
4	180200	その他	18_その他	電動機の順次省電力化取り替え	平成24年度	
5	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	昼休みおよび不要箇所の消灯の徹底	平成22年度	
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

関東流通センター　　事業所A

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　三菱電線工業株式　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	ボイラーの老朽更新による高効率化	H23年度	
2	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	不要配管の撤去および切断による放熱面積の削減による損失防止	H22年度	
3	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	エア漏れ削減によるコンプレッサ動力の削減	H20年度から実施	
4	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	加熱開始タイマー設定の適正化による電力量の削減	H22年度	
5	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	非稼動設備の電源切による待機電力の削減	H22年度	
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

三菱電線工業株式会社　熊谷製　　事業所BC

※希望者のみ記載

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　越谷アスファルト混合所　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	排風機にインバーター制御を導入予定	平成２３年	
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	プラント証明設備をLED設備に変更する予定	平成２６年	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

越谷アスファルト混合所　　事業所A

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　大林道路㈱久喜ア　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサーにインバーター制御を導入予定	平成２３年	
2	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	排風機にインバーター制御を導入予定	平成２３年	
3	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	プラント照明設備をＬＥＤ設備に変更する予定	平成２６年	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

大林道路㈱久喜アスファルト混　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　飯能プリンスホテル　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	120200	熱源設備・熱搬送設備	12_冷凍機の効率管理	Ｎｏ，１吸収式冷凍機の伝熱管５４４本取替整備　効率改善	平成２２年度	
2	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	２４時間系統冷却水ポンプインバータ制御導入	平成２５年度	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

飯能プリンスホテル　　事業所A

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　川越プリンスホテ　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	調光室パッケージエアコン更新	平成22年度	
2	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	厨房用冷却水ポンプを変流量制御へ変更	平成23年度	
3	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	吸収式冷凍機用冷却水ポンプを変流量制御へ変更	平成24, 25年度	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

川越プリンスホテル　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　田辺三菱製薬株式　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	150100	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_受変電設備の管理	高効率設備・器具の採用	平成24年度	
2	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	不要時空調設備の停止	平成21年度	
3	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	照明器具を省エネﾀｲﾌﾟに継続的に更新	平成21年より実施	
4	170200	負荷平準化	17_コージェネレーション	夜間電力による蓄氷熱利用について省エネ効果等検討	平成24年度	
5	120400	熱源設備・熱搬送設備	12_補機の運転管理	動力源へのインバーター制御導入	平成23年度検討	
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

田辺三菱製薬株式会社戸田事業　　事業所BC

※希望者のみ記載
CSRレポートの公表、ホームページから閲覧できます。（www.mt-pharma.co.jp）

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　東京インキ(株)　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	重油炊きボイラから天然ガス小型貫流ボイラに切り替えた。	Ｈ１４年度	
2	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	107台の空調機にコントローラを取り付けて制御できるようにした。	Ｈ１５年度	
3	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	37kWのコンプレッサをインバータ式に交換した。	Ｈ１６年度	
4	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	22kW,37kW,75kWのコンプレッサを台数制御できるようにした。	Ｈ１８年度	
5	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	蒸気配管設備をリニューアルし熱損失を少なくした。	Ｈ１９年度	
6	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	蒸気配管設備の１系統のバルブをモーターバルブに交換し、時間制御できるようにした。	Ｈ１９年度	
7	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	送水ポンプを高効率モータに交換した。	Ｈ２０年度	
8	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	押出機の主モータ(55kW)を高効率モータに交換した。	Ｈ２０年度	
9	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	55kWコンプレッサをインバータ式に交換した。	Ｈ２０年度	
10	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	４台の集塵機に手元SWを取付て必要な時間のみ運転するようにした。	Ｈ２２年度	
11	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	押出機の主モータ(132kW)を省エネ型のモータに交換する。	Ｈ２２年度	
12	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	部屋の照明回路を細分かし、不要箇所を消灯できるようにした。	Ｈ２２年度	
13	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	工場内の30台の外灯(水銀灯400W)を省エネ型(180W)に交換する	Ｈ２２年度	
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

東京インキ(株)　吉野原工場　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　東京インキ株式会　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	340500	発電専用設備、コージェネレーション設備	34_熱の動力等への変換の合理化に関する措置	太陽光発電１０ｋｗの設置。	平成１７年度	
2	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	蒸気、熱媒ボイラー燃料を重油よりＬＮＧに転換。蒸気ボイラー３台を高効率ﾎﾞｲﾗｰに更新した。	平成２０年度	
3	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	冷却水送水ﾎﾟﾝﾌﾟの運転管理（冬季一部停止する。３日／週）	平成２0年度	
4	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ｸｰﾘﾝｸﾞﾀﾜｰの運転管理（冬季一部停止する。３日／週）	平成２0年度	
5	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ニーダー駆動モーターを２２０ｋｗ直流モーターからエコドライブモーターに交換する。２台	平成２4年度	
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	水銀灯をＬＥＤランプに更新する。３００ｗ２６２基、４００ｗ４６基	平成２２年度	
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	蛍光灯器具をＨＦタイプに更新する。５６０基	平成２２年度	
8	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	練肉三本ロール１２台及びビーズミル９台に省エネVベルトを導入する。	平成２２年度	
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

東京インキ株式会社　羽生工場　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　ＯＫＩシステムセンター　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管理	エレベータ２機、運転制限（出社時間帯のみ運転）	平成19年	
2	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	個別エアコン省エネタイプに更新（4台）	平成19年	
3	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	蛍光灯機器、インバータ方式に更新	平成19年	
4	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	蛍光灯、330本間引き	平成19年	
5	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	窓際個別補助空調204台、運転時間制限	平成19年	
6	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	全館空調、運転開始時間制限	平成19年	
7	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	新棟窓際空調、5月連休前面停止	平成19年	
8	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	蛍光灯機器、インバータ方式に更新	平成20年	
9	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	新棟蛍光灯の深夜照度ゼロ（40%→ゼロ）	平成20年	
10	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	個別エアコン省エネタイプに更新（5台）	平成20年	
11	150300	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_事務用機器等の管理	ＰＣ省エネソフト（CoolClover）1500台導入	平成21年	
12	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	空調機のＣＯ２制御・・・予定	平成22年	
13	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	個別エアコン省エネタイプに更新（4台）・・・予定	平成22年	
14	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	蛍光灯機器、インバータ方式に更新（旧棟４ｆ）・・・予定	平成22年	
15	150300	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_事務用機器等の管理	自販機13台削減・・・予定	平成23年	
16	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の管理	全館空調夏冬省エネ設定（夏28℃ｃ、冬20度℃）	平成17年	ﾁｰﾑﾏｲﾅｽ6%→チャレンジ25運動で継続活動中

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

ＯＫＩシステムセンター　　事業所BC

１．社会・環境レポート2010発行

2009年度におけるCSR（企業の社会的責任）活動をまとめた「社会・環境レポート2010」を発行しています。
OKIグループが果たすCSRをステークホルダーの皆様にわかりやすくお伝えし、ご理解をいただくことを目的に、社会的な取り組みと環境への取り組み、およびそれらの成果を掲載しています。

２．ＯＫＩグループ環境への取り組み

OKIグループ環境方針を初め、環境活動の詳細内容をホームページで公開しております
http://www.oki.com/jp/eco/

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　ＯＫＩ　本庄工場　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	局所空調機を省エネ型エアコンに更新	平成21年度	
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	天井照明用の既設蛍光灯器具をHfｲﾝﾊﾞｰﾀｰの省ｴﾈ型に更新	平成21年度	
3	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	局所空調機を省エネ型エアコンに更新（5台／年間）	平成22年度～ 平成26年度	
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	３期工場全体空調用冷凍機を個別ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝに２年間で更新する	平成22年度 平成23年度	
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	天井照明用の既設蛍光灯器具をHfｲﾝﾊﾞｰﾀｰの省ｴﾈ型に更新（380台／年間）	平成22年度	
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	天井照明用の既設蛍光灯器具をHfｲﾝﾊﾞｰﾀｰの省ｴﾈ型に更新(250台／年間)	平成23年度 平成24年度	
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	天井照明用の既設蛍光灯器具をHfｲﾝﾊﾞｰﾀｰの省ｴﾈ型に更新（150台／年間）	平成25年度 平成26年度	
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

ＯＫＩ　本庄工場　　事業所BC

１．社会・環境レポート2010発行

2009年度におけるCSR（企業の社会的責任）活動をまとめた「社会・環境レポート2010」を発行しています。
OKIグループが果たすCSRをステークホルダーの皆様にわかりやすくお伝えし、ご理解をいただくことを目的に、社会的な取り組みと環境への取り組み、およびそれらの成果を掲載しています。

２．ＯＫＩグループ環境への取り組み

OKIグループ環境方針を初め、環境活動の詳細内容をホームページで公開しております
http://www.oki.com/jp/eco/

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　株式会社 東芝　首都圏　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	エネルギー使用量の要因別把握	平成21年度	
2	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	エアコン設定温度の適正管理 （温度設定目安：夏２８℃、冬２０℃）	平成21年度	
3	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	高効率タイプの照明器具への更新	平成24年度	
4	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	ブラインドの適正運用による窓面からの日射負荷の抑制	平成23年度	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

株式会社 東芝　首都圏支社　　事業所A

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　株式会社 東芝　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	ボイラー蒸気圧力低減化（0.7MPa→0.6MPa）	平成21年度	
2	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	#513チラー冷却水循環方式化（冷却塔設置）	平成21年度	
3	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	#513エアコンインバータ化	平成21年度	
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	#513夜間・休日のクリーンルーム空調風量低減	平成21年度	
5	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	#118再整備における空調設備の省エネ化	平成22年度	
6	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	#104,#106変電設備更新（高効率変圧器導入）	平成21年度	
7	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	#110変電設備更新（高効率変圧器導入）	平成22度	
8	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	#103変電設備更新（高効率変圧器導入）	平成23年度	
9	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	半田槽更新（フロー半田槽→ポイント半田槽化）	平成24年度	H24年度下期より稼動
10	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	半田槽更新（フロー半田槽→ポイント半田槽化）	平成25年度	H25年度下期より稼動
11	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	省エネタイプの照明器具への更新（#115-3F,#110,#102）	平成21年度	
12	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	省エネタイプの照明器具への更新（#115-1F）	平成22年度	
13	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	省エネタイプの照明器具への更新（#115-2F）	平成23年度	
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

株式会社 東芝　深谷工場　　事業所BC

※希望者のみ記載

平成21年度の具体的な取り組み内容

取り組み項目		対　策　内　容	2009年度実績（実施状況）	評　価
工場・オフィスに関する項目	CO_2排出量の削減	ボイラー蒸気圧力低減による運転効率改善	CO_2排出量：7,441t-CO_2 '07年度比 24.8%削減 （目標：'07年度比 13%削減） 原単位：9.21t-CO_2/億円 '04年度比 60%削減 （目標：'04年度比 40%削減）	○ 目標達成
		高効率変圧器仕様の変電設備更新		
		電力供給統合による余剰変電設備の停止		
		排水処理施設の統廃合による効率運転		
		チラー冷却水の循環方式化（冷却塔追加）		
		省エネタイプのエアコン・照明器具の導入促進		
		夜間・休日のクリーンルーム空調風量低減		
		エアコンのインバータ化		
	廃棄物排出量の削減	品質不良改善による製品廃棄物の削減	総排出量：3,655t '07年度比 1%増加 （目標：'07年度比 12%削減）	× 目標未達
		梱包材等の再利用推進		
		購入部品の梱包改善		
		排出元における排出物減量管理の徹底		
	ゼロエミッションの推進	廃棄物処分先の残渣率調査・見直し	最終処分率：0.18% （目標：0.4%以下）	○ 目標達成
		分別廃棄の徹底		
	資源の有効活用	廃プラの有価物化推進	廃プラ有価売却量：12,540kg （目標：1,200kg）	○ 目標達成
	化学物質排出量の削減	半田付け装置フィルターの材質変更による IPA洗浄の全面廃止	IPA排出量：2,749kg '07年度比 48%削減 （目標：'07年度比 40%削減）	○ 目標達成
	その他	全従業員への環境教育の実施	教育受講率 100%	○ 目標達成
		主要協力会社への指導・支援（環境点検実施）	指導・支援対象2社，100%実施	
		地域社会貢献活動の推進	1回/月の工場周辺の清掃実施	
製品に関する項目	環境調和型製品の提供	省エネ・省資源商品設計の推進	環境調和型製品の売上高比率 ：全社目標の50%以上をｸﾘｱｰ	○ 目標達成
		製品アセスメントの実施		
		調達部品のRoHS適合性自主評価の実施とデータベース化の推進	製品に含まれる特定 15物質の全廃適合率：100% （目標：100%）	○ 目標達成
		製品アセスメントの実施		

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　資源開発本部 秩父営業所　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	不要時消灯の徹底	平成21年度より実施	昼休みの消灯
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	不要時消灯の徹底	平成22年度	照明スイッチに「こまめに消灯」のステッカー貼付
3	410700	事務用機器	41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	省エネルギー型機器の採用	平成22年度	省エネ型コピー機への更新
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

資源開発本部 秩父営業所　　事業所A

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　資源開発本部　秩　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	工程別又は設備別のエネルギー使用量に係るデータ整理	平成22年度	工程又は設備別のエネルギー使用量を分析し、削減のための重点箇所を見出す。
2	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	回転数制御装置の導入による風量の低減	平成22年度	インバータ設置
3	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	インバータ制御コンプレッサーの導入	平成22年度	コンプレッサー更新
4	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	非稼動バグフィルタの払い落としエアーの停止	平成21年度	非常停止時にも供給停止
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	不要時消灯の徹底	平成22年度	照明スイッチに「こまめに消灯」のステッカー貼付
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	高効率電球型蛍光ランプに交換	平成22年度	白熱灯からの更新
7	410700	事務用機器	41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	省エネルギー型機器の採用	平成22年度	省エネ型コピー機への更新
8	150300	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_事務用機器等の管理	自動販売機の夜間停止	平成22年度	利用時間の少ない時間帯(PM10～AM6:00)の運転停止
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

資源開発本部　秩父事業所　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　理研ビタミン株式　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	工場内での省エネプロジェクト設立	平成21年10月	
2	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	吸収式冷水機更新工事（重油⇒都市ガスに変更）	平成21年9月	
3	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	顆粒工場ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ配管ﾙｰﾌﾟ化	平成21年6月	
4	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	粉体工場　排風ﾌﾞﾛｱｰのｲﾝﾊﾞｰﾀｰ化	平成24年予定	
5	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	粉体工場　空気圧縮機ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ機種導入	平成23年予定	
6	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	粉体工場　場内ｴｱｰ配管ﾙｰﾌﾟ化による台数制御と運転台数削減	平成25年予定	
7	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	蒸気ﾄﾗｯﾌﾟの更新	平成26年予定	
8	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	蒸気ﾄﾞﾚﾝ廃熱回収	平成23年予定	
9	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	事務棟省ｴﾈ照明設備の導入	平成23年予定	
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

理研ビタミン株式会社　草加工　　事業所BC

「理研ビタミン株式会社」（事業所全体）の取り組み例　※ホームページより
弊社は、地球環境に配慮した事業活動の必要性を認識し、環境マネジメントシステムの国際基準である「ISO14001」を取得するなどの取組みを実施してまいりました。
この取組みの一環として地球温暖化防止対策推進のため、「クールビズ」、「ウォームビズ」を実施しております。

（1）クールビズ

実施期間
6月1日～9月30日
実施内容
（1）冷房の設定温度を26℃以上にします。
（2）ノーネクタイ、ノー上着を推奨します。
ご来社の際は、お客様におかれましても、是非軽装でお越しください。

（2）ウォームビズ

実施期間
12月1日～3月31日
実施内容
（1）暖房の設定温度を24℃以下にします。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　サイデン化学株式会社 ㈱　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサー、触媒燃焼式脱臭装置等、各機器の運転最適化	H21年度より	
2	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	ボイラーの運転最適化	H21年度より	
3	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	冷水発生器の導入及び運転管理。温度管理及び深夜電力利用の運転を優先。	H19年度より	
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	研究所、事務所のエアコンの温度管理。室温設定の遵守 ：夏季 28℃　冬季 22℃	H18年度より	
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	無人箇所の消灯管理、休憩時間の消灯管理の徹底。	H18年度より	
6	490200	その他	49_その他の削減対策	毎週水曜日ノー残業デー	H21年度より	
7	490200	その他	49_その他の削減対策	太陽光発電装置の設置。（16kWh）	H22.2月	
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

サイデン化学株式会社 浦和工場　　事業所A

※希望者のみ記載

1)循環冷却水（工程水）
・チラーユニットの温度設定遵守（23℃運転、20℃停止により電気使用量削減）
・深夜電力利用の運転を優先。
2)各動力機器の運転最適化（動力使用時間の削減）
・むだな運転を止め、節電に努める。
3)節電の徹底
・環境巡視：休憩中等の消灯。
・エアコン室温設定の遵守　：　夏季 28℃　冬季 22℃
4)毎週水曜日ノー残業デー

1)～4)の取り組みにより徹底的に無駄を排除した結果、
エネルギー起源CO2排出量が対前年比-48t（-8.6%）を達成した。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　サイデン化学株式　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	冷水発生器の運転管理。温度管理及び深夜電力利用の運転を優先。冷水需要量に応じ、昼間の運転を台数制御。	H18年度より	
2	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	事務等エアコンの温度管理。温度設定の遵守　：夏季 28℃　冬季 22℃	H18年度より	
3	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	製造設備攪拌機用モーターのインバーター化。新設・更新に伴い順次導入。	H13年度より	H21年度 22KW 2基更新
4	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	無人箇所の消灯管理、休憩時間の消灯管理の徹底。	H18年度より	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

サイデン化学株式会社　東京工場　　事業所BC

※希望者のみ記載

1)循環冷却水（工程水）
・チラーユニットの温度設定遵守（9℃→13℃により電気使用量削減）
・深夜電力利用の運転を優先。冷水需要量に応じ、昼間の運転を台数制御。
2)反応及び配合時間の削減（動力使用時間の削減）
・むだな撹拌運転を止め、節電に努める。
・スケールアップにより生産回数を減らし、生産効率アップを図る。
3)節電の徹底
・環境巡視：休憩中等の消灯チェックを実施。（1回／週）
・事務棟エアコン温度設定の遵守　：　夏季 28℃　冬季 22℃
4)エコライフDayへの参加

1)～3)の取り組みにより、生産量の伸びに伴ってエネルギー起源CO2排出量が
対前年比+3.8%であったが、対前年比生産量原単位では-1.3%。
弊社全社目標の対前年比生産量原単位-1%を東京工場単独で達成した。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　関東化学株式会社　埼玉　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	埼玉県条例についてのＯＪＴ教育の実施及びエコライフＤＡＹ等の活用による啓蒙活動の実施	平成２２年度	
2	110200	一般管理事項	11_主要設備等の保全管理	フォークリフト(ガソリン)、空調設備の保全管理	平成２２年度以降継続	アイドリングオフ、エコ運転、空調フィルターの定期的な清掃
3	110300	一般管理事項	11_計測・記録の管理	室温等の記録	平成２２年度以降継続	事務所室温の管理(夏28℃以上、冬20度以下)
4	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	電気、ＬＰＧガス、ガソリン、の使用量管理	平成２２年度以降継続	毎月の使用量を管理。使用量増の原因を確認
5	140100	給湯設備、給排水設備、 冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_給湯設備の管理	ガス給湯機の管理	平成２２年度以降継続	不完全燃焼等が無いよう、燃焼状態を管理
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

関東化学株式会社　埼玉営業所　　事業所A

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　関東化学㈱草加工　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	温水を利用する吸収式冷凍機の採用	H23年度	コージェネレーションシステムで生成する温水の有効利用として導入
2	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	温水を工業用水の加温に使用	H23年度	コージェネレーションシステムで生成する温水の有効利用として導入
3	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	クリーンルーム空調機器更新	H24年度	旧型の空調機を新型の高効率機器に更新する
4	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	クリーンルーム空調用吸収式冷凍機更新	H25年度	旧型の吸収式冷凍機を新型の高効率機器に更新する
5	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	排風機動力への力率コンデンサー設置	H21年度実施済	
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	タイマースケジュール導入	H20年度実施済	主要な外灯について、夜間及び休日の消灯をタイマースケジュール化
7	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	高効率トランスの採用及びトランス統合	H19,20年度実施済	
8	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	高効率コンプレッサーの導入による運転台数削減	H19年度実施済	高効率37kWコンプレッサーに小型コンプレッサー15台を配管結合して台数制御
9	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ブロワー・ポンプのインバーター化	H19年度実施済	使用頻度の高いブロワー2箇所。チラー冷却水ポンプ1箇所をインバーター化
10	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	力率コンデンサ取り付け対象設備12箇所	H19年度実施済	
11	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	外灯の更新	H19年度実施済	水銀灯19台を高効率型に更新 (400⇒230w)
12	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	省エネルギー/炭酸ガス排出量削減のため対策推進体制整備	H19年度より	「省エネ委員会」の設置と運用
13	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	バーナーの更新	H17年度より	重油･LPGバーナーを都市ガスバーナーへ更新し、CO2、Sox、Nox削減
14	340500	発電専用設備、コージェネレーション設備	34_熱の動力等への変換の合理化に関する措置	コージェネレーションシステム導入	H13年度より	ガスエンジン型コージェネレーションシステムを導入
15	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	ボイラーの更新	H11年度より	重油燃焼ボイラーを都市ガスボイラーへ更新し、CO2、Sox、Nox削減

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

関東化学㈱草加工場　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　ﾀﾞｲﾆｯｸ㈱埼玉工場　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	燃料転換（Ａ重油→ＬＮＧ化）	平成20年	
2	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	変圧器の更新(Ｓ-1、Ｓ-3、Ｓ-4、Ｓ-10)	平成18～21年	
3	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	変圧器の更新(Ｓ-6)	平成22年	
4	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	変圧器の更新	平成23年実施	
5	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	排気ファンモーター容量減(Ｎ－2，Ｎ-6，ＬＣ-3)	平成18年	
6	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサー更新（紙クロス）	平成21年	
7	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサー更新（第4）	平成22年	
8	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサー更新（第3）	平成23年実施	
9	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明器具を高効率型へ交換	平成18年	
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

ﾀﾞｲﾆｯｸ㈱埼玉工場　　事業所BC

当事業所は‘98年（平成10年）に環境管理活動による改善方策の為に、ＩＳＯ14001の認証を取得し、当事業所の環境方針の中にも掲げている様に、省エネルギー活動の推進を全事業所で取り組み、一定の成果を出している所であり、現在も引き続き継続的な改善活動を進めている。
具体的な活動としては、‘03年2月から電力費及び燃料費の削減化の為に発電設備として720kw×5台及び廃熱ボイラーを併設したコージェネレーション設備を導入したが、コスト削減には寄与したがエネルギーの消費やＣＯ2排出量の削減にはあまり寄与しなかった。
‘07年の初めには、燃料転換（Ａ重油→ＬＮＧ）の検討に入り、コージェネレーションの稼動状況によるコストメリットと燃料転換による燃料費の削減及びＣＯ2排出量の削減効果を比較して最も大きな効果が見込める燃料転換工事を進める事を決定し、‘08年1月から運用を開始した。
この燃料転換の伴なって、従来のＡ重油用の貫流ボイラーを気体燃料を使用した効率アップされた貫流ボイラーへの更新を含めての一連の事業を環境省の補助事業として位置づけ、‘08年度のＣＯ2排出量削減量は約2,400ｔ-C02となり、現在も稼動をしている所である。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　株式会社 ＤＮＰコ　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	動力棟吸収冷凍機2台　ﾀｰﾎﾞ冷凍機へ更新	H23年	H23年に１台更新　H26年に１台更新
2	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	Ｌ棟冷凍機用冷却水の排熱利用による外気予熱	H23年	
3	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	動力棟冷凍機の冷却水排熱利用による純水原水加温	H25年	
4	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	純水送水ﾎﾟﾝﾌﾟ6台INV化	H22年	
5	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	不要時の電力応用設備停止の徹底	H22年	
6	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	非稼動ｴﾘｱの供給元弁閉止による圧縮空気流量の削減	H22年	
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	適切消灯及びｽｲｯﾁ回路細分化による照明電力削減	H22年	
8	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	排水回収設備　菌体分離膜設備更新による省電力化	H23年	
9	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	高効率ﾗﾝﾌﾟ採用によるUVﾗﾝﾌﾟ本数削減	H22年	
10	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	窒素ｶﾞｽ発生装置　主電動機等の更新よる省エネ	H24年	
11	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	稼動状況に応じた空調機器類の適切運転	H22年	
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

株式会社 ＤＮＰプレイシジョン　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　株式会社　マス　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサーのインバータ化	H15	
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	既存照明を高効率型への更新	H20	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

株式会社　マスセイ　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　和光純薬工業株式会社　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	不要な場所の消灯実施	平成16年頃より実施	
2	130300	給湯設備、給排水設備、 冷凍冷蔵設備、厨房設備	13_換気設備の運転管理	換気ファンベルト省エネタイプに変更	平成22年7月	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

和光純薬工業株式会社　厚生棟　　事業所A

・厚生施設のため使用時間が限られているが、不必要な場所の蛍光灯の蛍光ランプを外しての消灯と不要時の消灯を平成16年ころから励行している。
・又、排気ファンのVベルトを省エネタイプへの交換を平成２２年７月に実施した。
注）その他の事業所名：ｸﾞﾗﾝﾄﾞ　　所在地：埼玉県川越市大字的場2585番地

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　和光純薬工業株式　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	高効率ﾎﾞｲﾗｰに更新して、負荷側の圧力によって台数制御に改善	平成16年8月	
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明器具をｲﾝﾊﾞﾀｰ器具に更新	平成17年6月	
3	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	省エネトランスに更新	平成20年2月､21年1月､22年1月と実施	
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷凍機圧縮機の更新	平成20年8月	
5	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷凍機圧縮機の更新	平成21年3月	
6	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	倉庫の貯蔵の仕方を変更して２室の冷蔵庫を1室に纏めて運転する。	平成21年7月	
7	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷凍機圧縮機のｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ	平成20年12月	
8	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	省エネＶﾍﾞﾙﾄに交換	平成21年度	
9	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	省エネトランスに更新	平成23年2月予定	
10	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	一号井戸水中ﾎﾟﾝﾌﾟのインバター化	平成22年9月予定	
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

和光純薬工業株式会社　東京工　　事業所BC

当工場は2000年環境ISO14001の認定取得してから毎年環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ実施計画に載せて、ソフト面では、冷蔵倉庫温度の見直しは運転時期と空調温度設定の見直しを行い運用している。又、一般空調温度設定と不要時の照明の消灯励行などを実施している。ハード面では白熱電球を蛍光電球への交換、空調機をインバター機器への更新、蛍光灯をインバター機器への更新、スチームトラップの省エネタイプへの交換などを進めてきている。最近の主なものは『別紙2号の温室効果ｶﾞｽ排出量の削減等の措置の計画及び実施状況』に記載した事項も計画及び実施を行なっている。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　ニチバン株式会社 大宮ﾆ　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	省エネルギーの推進	H22年度	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

ニチバン株式会社 大宮オフィス　　事業所A

H21年度も従来同様、営業車のエコドライブの推進を心がけた。なお、弊社大宮分室はH22年をもって弊社東京オフィスに統合されることが決定したため、次年度以降の目標は設定しないものとする。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　ニチバン株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサー稼動時のエア漏れ漏洩対策	平成22年度	
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	省エネルギー型照明装置の導入	平成22年度	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

ニチバン株式会社 埼玉工場　　事業所BC

平成21年度に環境設備として、温暖化対策とは関係無いが、VOCガス燃焼装置の稼動を行っている。また平成20年度からは高効率ボイラーの稼動を行っており、原単位としてのエネルギー使用量の減少は進んでいる。使用原材料面においても、ユーザーにおける廃棄物の削減を目的にテープの合紙(テープの側面同士が付着しないよう挟む紙やフィルム)の廃止について、対象製品を拡大している。
以上の内容については以下の弊社HPにて公開されている。
http://www.nichiban.co.jp/environment/index.html

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　株式会社　小山本　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	温暖化対策プロジェクトチームの設立及び運営	平成22年度	メンバーの選任および活動内容の策定
2	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	余剰温水の回収システム構築	平成23年度	廃棄温水の回収、有効利用
3	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	夏の室温温度２度緩和（２年間で）	平成22年度	
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空気調和設備を省エネタイプに変更	平成23年度	古い順に新しいものに交換
5	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	遮熱塗料利用による熱遮断	平成22年度	屋根のペンキを遮熱にし、空調コスト削減
6	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ブロワー使用台数の削減	平成22年度	排水設備処理改良によるブロアー数減
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	事務所、工場内照明設備を省エネタイプに変更	平成23年度	
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

株式会社　小山本家酒造　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　埼玉県済生会鴻巣病院　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	エネルギー管理体制の整備・確立をする	平成23年度	参考：省エネルギーセンター「2010ビル省エネ手帳」
2	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	省エネルギーの管理目標を設定する	平成23年度	参考：省エネルギーセンター「2010ビル省エネ手帳」
3	110300	一般管理事項	11_計測・記録の管理	エネルギーデータを記録し活用する	平成23年度	参考：省エネルギーセンター「2010ビル省エネ手帳」
4	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	エネルギーの原単位の管理をする	平成23年度	参考：省エネルギーセンター「2010ビル省エネ手帳」
5	110200	一般管理事項	11_主要設備等の保全管理	機器の定期的な保守・メンテナンスをする	平成23年度	参考：省エネルギーセンター「2010ビル省エネ手帳」
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　埼玉県済生会川口　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	エネルギー管理体制の整備・確立をする	平成23年度	CO2削減量は省エネルギーセンター「2010ビル省エネ手帳」を参考とした
2	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	省エネルギーの管理目標を設定する	平成23年度	CO2削減量は省エネルギーセンター「2010ビル省エネ手帳」を参考とした
3	110300	一般管理事項	11_計測・記録の管理	エネルギーデータを記録し活用する	平成23年度	CO2削減量は省エネルギーセンター「2010ビル省エネ手帳」を参考とした
4	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	エネルギーの原単位の管理をする	平成23年度	CO2削減量は省エネルギーセンター「2010ビル省エネ手帳」を参考とした
5	110200	一般管理事項	11_主要設備等の保全管理	空調設備の清掃（室外機18台・室内機149台）	平成23年度	CO2削減量は省エネルギーセンター「2010ビル省エネ手帳」を参考とした
6	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	断熱フィルムの設置で空調負荷を削減	平成23年度	納入業者の試算した削減量を計上した
7	140200	給湯設備、給排水設備、 冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_給排水設備の管理	節水コマの設置	平成19年度	節水は本制度においてはCO2削減の計上対象外
8	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネルギー	屋上緑化	平成21年度	CO2削減量の定量化不可
9	120600	熱源設備・熱搬送設備	12_廃熱回収の管理	CGSの排熱を冬季の暖房に利用	平成21年度	負荷パターンを検証するなど継続して最適運転を目指す（CO2の削減量定量化不可）
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

埼玉県済生会川口総合病院　　事業所BC

昨年度までの実績
①適正な空調温度と節電
→職員のクールビズ励行
②屋上緑化実施
→平成21年度10月　260m2
③節水コマの採用にて、上水量の低減及び節電
→平成19年度8月より440個取り付け
→平成20年度の実績：平成18年度比で3,579m3(上水分)の節水効果
→これはCO2換算すると680kg-CO2（東京都計画書制度　結果報告書　上水分で計算）に相当する
④冬季の暖房時にCGSの排熱を利用
→平成21年度より実施　都市ガスの使用を70%に抑制できた

　昨年度までにこれらの省エネ活動を行い実際に効果がでているものもあることについては、自己評価できる。今後も積極的に省エネへの取り組みを続けていきたい。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　積水化学工業株式会社環　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	150200	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用管理	昼休みなど、不要時の消灯	平成２０年度より	
2	150300	受変電設備、照明設備、 電気設備	15_事務用機器等の管理	ＯＡ機器更新時の省エネ型機器の導入	平成２１年度より	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

※希望者のみ記載

全社の環境中期計画「環境トップランナープラン-SHINKA!」に、2009(平成21)年度～2013(平成25)年度の取り組み目標として、国内オフィスのＣＯ２排出量を2013(平成25)年度に2007(平成19)年度比１０％削減を掲げている。

当事業所では、2008(平成20)年度に事務所を移転し、小規模化することによって2007年度のＣＯ２排出量既に上記目標を大きく上回る３９％の排出量削減（2007年度8.878t-CO2→2009年度5.404t-CO2）を達成しています。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　積水化学工業株式　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	蒸気配管の合理化、トラップの適正化	平成２２年度	
2	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷暖房設定温度、稼動時間の設定・変更	平成２０年度より実施	
3	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	クリーンルームの省エネ活動	平成２２年度	
4	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ブロアーの高効率機種への更新	平成２２年度	
5	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサー空気漏れ箇所の修理	平成２１年度より実施	
6	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサーの更新（効率向上）	平成２１年度より実施	
7	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	高効率照明器具への更新	平成２２年度	
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

積水化学工業株式会社　武蔵工　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　積水化学工業株式　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	490200	その他	49_その他の削減対策	冷却塔送水ポンプの削減（無くす）	平成２２年度	５月実施済み
2	490200	その他	49_その他の削減対策	樋本体チラー機の稼働率低減	平成２２年度	５月実施済み
3	490200	その他	49_その他の削減対策	管材第５工場チラー機の稼働率低減	平成２２年度	５月実施済み
4	490200	その他	49_その他の削減対策	集塵機の夜間・休日稼働率低減	平成２２年度	１０月実施予定
5	490200	その他	49_その他の削減対策	チラー送水ポンプのインバータ化（圧力削減）	平成２２年度	９月実施予定
6	490200	その他	49_その他の削減対策	チラー循環ポンプのインバータ化（流量削減）	平成２２年度	９月実施予定
7	490200	その他	49_その他の削減対策	チラー戻しポンプの削減（無くす）	平成２２年度	５月実施済み
8	490200	その他	49_その他の削減対策	原料中間水ポンプの稼働率低減（減らす）	平成２２年度	５月実施済み
9	490200	その他	49_その他の削減対策	超芯雨樋チラー設備の削減	平成２４年度	５月実施予定
10	490200	その他	49_その他の削減対策	成型機のインバータ制御化	平成２３年度	８月実施予定
11	490200	その他	49_その他の削減対策	管材第２工場チラー機の稼働率削減（地下水補給）	平成２３年度	１月実施予定
12	490200	その他	49_その他の削減対策	チラー機運転と循環水の連動化	平成２３年度	１月実施予定
13	490200	その他	49_その他の削減対策	エスロンヤード水銀灯の小型化	平成２３年度	１月実施予定
14	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	低圧コンデンサー設置（サブ変電所力率改善）	平成２４年度	８月実施予定
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

積水化学工業株式会社　東京工　　事業所BC

１．目標は平成１８年度の排出量を基準とし、２２年度は１８年度の排出量に対し１％削減以降、毎年前年比１％づつ削減して行く。
２．対策は２２年度時点での計画であり、２３年度以降も引き続き削減項目（対策）を発掘して行く。
３．当工場は動力の９９％が電力であり、設備導入・更新時、省エネ設備を選定、導入。
４．事務機器、照明など退室時の電源カット、製造現場、事務所の昼休み消灯も実施。
５．上記４についてはほぼ定着、今後は引き続き、計画的な省エネ投資を展開。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　コーラゴーキン株　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	ベーパーライザーの気化改善	平成２２年度	
2	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	工業炉の溶解・保持バーナーの燃焼効率改善	平成２３年度	
3	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	溶解・保持炉の扉の修繕	平成２２年度	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

コーラゴーキン株式会社　　事業所BC

※希望者のみ記載

リーマンショック後、他社の同事業撤退等に伴う受注増により、エネルギー起源のCO_2 排出量が過去最高でした。

特に、溶解保持炉（１１台）による温室効果ガス排出量の削減等の対策を実施しました。

Ⅰ．５月の連休には、炉を停止しました。

Ⅱ．７月、８月に熱の損失防止の為に、補修を計４台実施しました。

Ⅲ．８月、１０月、１２月に各１台の溶解保持炉の更新入替を実施しました。

Ⅳ．１１月に溶解バーナーの間欠運転の為に、湯面検知の高さを見直しを実施しました。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　石坂産業株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	不要時に電力応用設備の停止の徹底	平成20年度	
2	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	電動機の負荷の適正配分	平成21年度	
3	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	定期的な保守メンテナンスの実施	平成19年度	
4	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明器具及び光源の清掃実施	平成19年度	
5	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷暖房設定温度の変更設定	平成18年度	
6	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	不要時の換気停止の徹底	平成20年度	
7	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	エアフィルタ等の点検・清掃・交換	平成18年度	
8	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空気調和設備の定期的な保守及び点検の実施	平成18年度	
9	490200	その他	49_その他の削減対策	燃料式重機のエコモード運転の設定	平成18年度	
10	490200	その他	49_その他の削減対策	燃料式から電動式に重機の入替え	平成17年度	
11	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	主要設備の保全管理、エネルギー使用量の管理	平成19年度	
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

石坂産業株式会社　　事業所BC

■　建設系産業廃棄物をリサイクルする中間処理業

当社は、解体及び新築工事で発生する建設系産業廃棄物を分級分別し再資源化しています。現状95%の資源リサイクル化率を平成24年度までに96%に改善することを目標に業務改善に取組んでいます。プラント施設は木材チップ、廃コンクリート、廃プラスチック、分級分別、減量化、有価物の６つで構成しています。

■　温室効果削減の基準年度

当社は平成19年度に新技術の機器設備を導入しプラント施設をリニューアルしました。それにともない、平成18年度から基本契約電力量を≒25%UPしました。温室効果ガス削減対策の基準年をこのリニューアル年度に設定しました。

■　エネルギーの費消構造

エネルギー費消構造は、軽油30%、電力70%になっています。軽油は、廃棄物をプラント施設に投入するためのショベルローラー、産業廃棄物の形状を一定かつ均一化するニプラーなど前処理用の重機、電力はプラント施設内の設備機器や空調機器に使用しています。

■　温室効果ガス削減の取組み

重機については、エコモードの設定、急停車急発進及び急旋回禁止、過負荷運転の禁止などオペレーターに周知徹底し温室効果ガスの削減に努めています。

電力量の削減については、設備機器の運転起動の順次立上げ、ライン停止など運転方法を経験則に基づき変更し、電力量の平準化の仮設検証を繰返しています。施設に持込まれる産業廃棄物の形状、種類、水分含有（雨天）により、起動や停止条件が同一でも電力負荷量が変化することから、最適化について現在も検証中です。

■　平成21年度の自己評価

全体会議の石栄会の場で、温室効果ガスの削減運動について社員全員に周知を図り、業務の一環として省エネ活動を推進し、事務所では省エネ活動を目標通りに実践いたしました。プラント施設の電力量削減は、仮設検証の平準化データに基づき、待機中の設備機器の停止やラインの稼働条件を複数設定するなどし、前年対比5%電力の契約量を下げました。

平成21年度は前年度に比較し電力量は削減しましたが、各プラント別の電力負荷量が見えないこと、受入搬入量の減少もあり、改善効果なのか判断できない要素も多々あります。デマンド監視で予定ラインを超過する虞があると、空調機器を停止対応していましたが、時間単位の停止になると職場環境面で支障が出ました。順次起動、設備停止、ラインの部分運転で問題が発生しか箇所は、平成22年度で精査します。データ判断から22年度期中若しくは23年度に基本契約の電力量を上げる蓋然性が高いと思います。

■　平成22年度の取組み

現在使用している重機を燃料式から電動式に入替えるため日立建機殿と定期的に技術打合せを行っています。電動式重機は旋回・移動に制約があり、作業動線の見直しや技術改良について協議しています。またプラントや各個別機器の見える化、太陽光発電増設について調査研究を進めています。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　アルバック成膜株　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	Ａ棟サブ変電所更新	平成２３年度	高効率トランスの採用
2	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	Ｂ棟サブ変電所更新	平成２５年度	高効率トランスの採用
3	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調温度見直し、最適制御	平成２６年まで	
4	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明器具更新	平成２６年まで	
5	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷熱源統合による省エネ	平成２２年度	
6	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	コンプレッサー圧力低下（０．０７Mpa）	平成２２年度	
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

アルバック成膜株式会社　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　大利根工場　　事業所A

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	推進体制の整備 削減目標・実行計画の設定・進行管理	H22年度～23年度	
2	310200	一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	主要設備の管理標準策定、計測、記録、保守点検帳票整備 蒸気・給水・電気系統図の整備、主要設備機器仕様書整備	H22年度～24年度	
3	310300	一般管理事項	31_計測及び記録の管理	ｴﾈﾙｷﾞｰ計測機器の整備 主要設備の効率・負荷の計測・記録	H23年度～26年度	
4	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	燃焼設備の空気比管理規定作成、空気比改善 保守点検規定作成、実施	H22年度～23年度	
5	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	蒸気圧力の見直し、ボイラー負荷適正化 ボイラー水の水質管理規定の作成、実施、ﾌﾞﾛｰ量の低減 ドレン、トラップの定期点検、清掃、整備	H23年度～26年度	
6	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	蒸気配管の定期的保守、点検実施、フランジ、バルブ部の漏洩修理 蒸気配管の断熱強化 熱利用設備の断熱保全管理規定作成	H23年度～26年度	
7	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	蒸気ドレンの廃熱回収規定作成	H22年度～23年度	
8	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	変圧器の需要率管理、電圧・負荷率の計測・記録 自動力率調整装置の設置 受変電設備・配電設備の保全管理規定の作成	H23年度～26年度	
9	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ポンプ・フィルター・ストレーナーの定期的保守点検 ファン・ブロアーの保全管理規定の作成 コンプレッサーの保全管理規定の作成	H22年度～23年度	
10	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	電動力応用設備の保全管理規定の作成、定期的保守点検	H22年度～23年度	
11	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照度の管理規定の作成 照明設備の保全管理規定の作成、保守点検	H22年度～23年度	
12	410700	事務用機器	41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	不要時の電源OFF 事務用機器の定期的保守点検、省エネ型機器の採用	H22年度～26年度	
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

大利根工場　　事業所A

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　日本化学産業株式　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	推進体制の整備 削減目標・実行計画の設定・進行管理	H22年度～23年度	
2	310200	一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	主要設備の管理標準策定、計測、記録、保守点検帳票整備 蒸気・給水・電気系統図の整備、主要設備機器仕様書整備	H22年度～24年度	
3	310300	一般管理事項	31_計測及び記録の管理	ｴﾈﾙｷﾞｰ計測機器の整備 主要設備の効率・負荷の計測・記録	H23年度～26年度	
4	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	ドレン、トラップの定期点検、清掃、整備	H22年度～26年度	
5	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	蒸気配管の定期的保守、点検実施、フランジ、バルブ部の漏洩修理 蒸気配管の断熱強化 熱利用設備の断熱保全管理規定作成	H22年度～26年度	
6	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	蒸気ドレンの廃熱回収規定作成	H22年度～23年度	
7	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	冷却水水質基準の設定	H22年度～23年度	
8	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	変圧器の需要率管理、電圧・負荷率の計測・記録 高効率変圧器への更新	H23年度～26年度	高効率変圧器への更新は、26年度までに行う
9	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ポンプ・フィルター・ストレーナーの定期的保守点検 ファン・ブロアーの保全管理規定の作成 コンプレッサーの保全管理規定の作成	H22年度～23年度	
10	370700	電動力応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	電動力応用設備・電気加熱設備の保全管理規定の作成、定期的保守点検	H22年度～23年度	
11	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照度の管理規定の作成 照明設備の保全管理規定の作成、保守点検	H22年度～23年度	
12	410700	事務用機器	41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	不要時の電源OFF 事務用機器の定期的保守点検、省エネ型機器の採用	H22年度～26年度	
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

日本化学産業株式会社　埼玉工　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　平岡織染株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310200	一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	保全計画に基づく保守及び点検	既に実施	年初に予算計上し、承認された設備の保守及び点検
2	320100	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理化に関する措置	燃焼設備の定期的な保守及び点検	既に実施	法令に基づいた保守及び点検
3	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	加熱工程スケジュール管理、加熱・乾燥炉における付着物の除去	既に実施	同加熱条件の製品集約
4	340500	発電専用設備、コージェネレーション設備	34_熱の動力等への変換の合理化に関する措置	コージェネレーション設備の定期的な保守及び点検	平成１７年度より実施	
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	不要時消灯の徹底、昼光利用による消灯、節電型ランプに交換及び照明器具・光源の清掃	平成１９年度より実施	照明器具・光源の清掃は年末年始の大掃除に実施
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

平岡織染株式会社　草加事業所　　事業所BC

※希望者のみ記載

平岡織染株式会社　ホームページ　環境への取組２００９参照
http://www.tarpo-hiraoka.com/j/pdf/kankyou2009_100618.pdf

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　東鋼業株式会社　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	130300	給湯設備、給排水設備、 冷凍冷蔵設備、厨房設備	13_換気設備の運転管理	工場内の排気ﾌｧﾝを部分的に夜間停止	平成22年度	H22年6月に実施したが工場内で不具合が出そうなので、今後検討する。
2	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰ（社内50台）の集中管理	平成23年度	H22年7月までに電力使用量の調査をしている為、詳細はまだ未定。
3	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	140kwｺﾝﾌﾟﾚｯｻｰのﾌﾞﾛﾜｰ化	平成24年度	H22年7月までに電力使用量の調査をしている為、詳細はまだ未定。
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

東鋼業株式会社　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　三幾飼料工業株式　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	320300	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_放射・伝熱等による熱の損失の防止に関する措置	バルブ・配管の保温材の取り付け	平成22年度	
2	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用に関する措置	濃縮缶の廃ガス側の洗浄設備	平成21年度	
3	360700	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	インバーター駆動に変更	平成24年度	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

三幾飼料工業株式会社　　事業所BC

※希望者のみ記載

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　㈱　報宣印刷　埼　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

㈱　報宣印刷　埼玉工場　　事業所BC

省エネ活動の一環として工場内の室温を夏28℃冬20℃として管理した。時間を設定し見回りを強化し従業員の省エネに関する意識の啓発運動を行った。外光を取り入れることによって必要以上の照明を間引くことが出来た。

別紙２号　温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況　　オリエンタルエン　　事業所BC

Ｎｏ	対策の区分			対策名称	実施時期	備考
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310200	一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	定期点検によるエネルギーロスの管理	H22年度計画 H23年度より実施	
2	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	デマンド管理及びエネルギー消費量管理	H22年度より実施	
3	310500	一般管理事項	31_生産工程のエネルギー管理	稼働効率の向上（充填率、時間短縮等）	H22年度より順次計画実施	
4	329900	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_ボイラー・工業炉・蒸気系統・熱交換器等に係るその他の削減対策	エネルギー効率の向上（設備の効率的運用、軽量治具等）	H22年度より順次計画実施	
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	省エネ型照明の採用	H22年度より順次実施	
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙４号　事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（公表）

オリエンタルエンヂニアリング　　事業所BC

※希望者のみ記載